

経営後継者研修だより

4月のトピック 自社分析最後のテーマ「第二創業プラン策定」が始まりました。

4月からは、自社分析最後のテーマ「第二創業プラン策定」が始まりました。後継者として企業を存続・成長させていくためには、現状に満足せず、新たな企業成長の方向性を模索することが必要です。本テーマでは、これまでの自社分析の結果を活かして、今後、第二創業を行う場合にどのような方向性があるのかを考えます。研修生は自社第二創業プランを考える前に、4～5名のグループごとに新規事業プランを考える演習にチャレンジし、クラス内で発表しました。

今月も、4月の感想について広報委員の3名に伺いました。

新規事業プラン策定の実際【演習】

今月は新規事業プラン策定の演習を行いました。1班1つ、まっさらな状態から新規事業立ち上げを目指した内容でした。4日間という限られた時間の中で、事業コンセプトの抽出や財務戦略の構築等の様々な課題に取り組み、どの班も最後までやりきることができました。

今回の経験を自社の第二創業策定に活かし、納得のいくものができるように取り組んでいきたいと思えます。【株式会社桜井製作所 櫻井貴史】

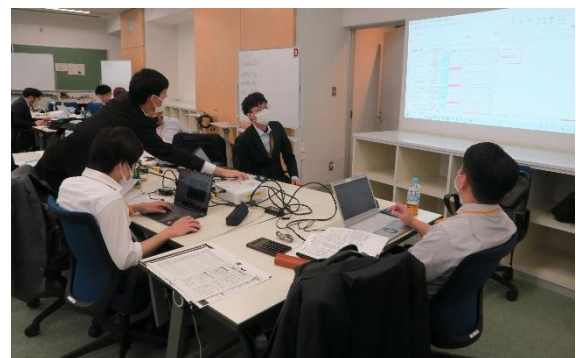
4月は自社第二創業策定前の事前演習として、新規事業プラン策定演習を班単位で行いました。1から事業のアイデアを抽出し、事業ドメインやコンセプト、ビジョンを明確化し、それらをマーケティング戦略、組織体制の構築、利益・資金計画に落とし込む演習を行いました。中でも難しかったのは資金計画です。資金調達の方法は自己資金や借入ぐらいしか認識していませんでしたが、事業によっては助成金を利用できることも知りました。複数人の意見を出し合うことで、1人で勉強する以上の知識や知恵を得ることができたと思います。【株式会社加藤工業 加藤貴巳】

財務総合演習～財務計画策定（ケーススタディ）～

4月は主に自社利益・資金計画策定に向けた講義がありました。中でも財務総合演習における財務計画策定が非常に勉強になりました。例題企業において財務の現状を把握し、費用対効果を考えてどの程度の設備投資をするか等を総合的に考える演習でした。自身の班は爆発的な増益となりましたがリアリティに乏しい計画となってしまいました。演習の難しさを感じたとともに現実においては相当な勉強が必要だと感じました。【ホクト株式会社 廣田光祐】



新規事業策定プラン（演習）の発表風景です。



財務総合演習の様子です。
協力して取り組んでいます。

第 45 期経営後継者研修について

2023 年 10 月から募集開始予定です。募集関係資料送付をご希望される方は以下のフォームからその旨ご連絡いただきますよう、よろしくお願いいたします。第 45 期経営後継者研修の募集関係資料が完成次第、ご郵送いたします。

https://www.smrj.go.jp/contact/tokyo_02/index.php